

募集!

平成14年度 町政モニター

町のホームページで公開しています。

今年度も12名の方に町政モニターとして参加していただきたくと考えています。

町政モニターとして活動していただける方は、別添の様式（広報に差し込み）に必要事項を記入し、5月24日（金）までに投函してください。

なお、できるだけ町内全域及び幅広い年齢層の方からご参加していただきたいと考えております。応募者が一部地域、年齢層にかたよった場合及び予定人員より多くなった場合には選考させていただきます。

町政モニターの応募条件は、おおむね次のとおりです。

なお、活動内容については、第1回目の会議においてモニターの皆さんとともに検討したいと考えています。

また、会議の開催日は、平日の夜間、休日など、モニターの皆さんが参加しやすい日時を選びたいと考えています。

皆様からの多数のご応募をお待ちしています。

住民の皆さんの町政に対する意見等を聞かせていただき、今後の行政施策に反映するとともに、モニターとして参加された方に、まちづくりなどについて考え、行政問題の解決策の立案に参加する機会としていただくことを目的として、平成12年度から町政モニター事業を実施しています。

平成13年度

町政モニター感想文 ①

町政モニター会議に参加して感じたこと

佛 圓 哲 朗

昨年6月に偶然インターネット上にある熊野町ホームページを見る機会があり、その中で町政モニター募集を知りました。

熊野町で生まれ、育ってきたのにもかかわらず、あまり熊野町のことを知らない自分を変えるという意味で面白そうだなと感じ、「やりたいうことはすべてやってみよう」という精神で応募しました。

そのときの応募理由として町に提出した内容は、私が活動

①応募条件

・町内にお住まいの方

・年齢20歳以上の方

・原則として会議等に出席できる方

②主な活動内容

・会議の出席

・町政に関わる事項についての意見や問題提起

③任期

平成14年6月

平成15年3月

を行う前に純粋に考えたことであり、その精神は活動を終わろうとしている今でも変わっていないのもう一度初心に返る意味で以下に記します。

〈応募理由〉

私の好きな言葉に「着眼大局 着手小局」があります。

21世紀を迎え社会、経済、政治などすべての面においてボーダレスな環境に大きく変わろうとしています。日本においても小泉内閣が発足して

「構造改革なくして景気回復なし」の強い意志で進めようとしています。このようなマクロな環境に対して私たち一人一人は何かできるかを真剣に考えることが重要であり、

まずミクロな具体的な取り組み、例えば自分が住んでいる「コミュニティ」を魅力あるものにしていくことが第一歩であると考えました。特に、

未来を担う子ども達を育てる環境は、今まさに「コミュニティ」が国などの上からの指

示で動くのではなくプロアクティブに自らが動くように変わることで創られるのではないのでしょうか！

このような視点から自らがコミュニティの運営や仕組み作り、すなわち町政に微力ながら少しでも貢献できれば、「三世代が住みよい緑の生活創造都市・熊野町」というビジョンを達成していくことになり、さらにマクロな構造改革につながっていくという気持ちから今回の町政モニター制度に応募させていただきました。

7ヶ月の活動を終えるに際して、多士多才のメンバーの方々と町事務局メンバーの方々とともに非常に有意義な議論を行い、個人的には勉強になり、上記の応募理由を具現化する方向に前進できたと考えます。今後は、この経験を生かしてコミュニティ活動に少しでも貢献できるようにしていきたいとともに、本会議の成果を町がいかに生かしているかを見守っていききたいと思